

## 北岡伸一 JICA 新理事長が就任

01



新しくJICA理事長に就任した北岡伸一

10月1日付で、田中明彦（2012年4月〜2015年9月）の後任として、北岡伸一がJICAの理事長に就任しました。

北岡理事長は、1948年、奈良県出身。71年に東京大学法学部を卒業し、76年に東京大学大学院法学政治学研究科博士課程を修了しました。その後、東京大学法学部教授、特命全権大使（日本政府国連代表部次席代表）、政策研究大学院大学教授、国際大学学長などを歴任し、JICA理事長に就任しました。

10月9日には、東京都のJICA本部で就任記者会見が開かれ、北岡理事長は、「現場の状況を踏まえ、地に足の着いた着実な支援を目指していきたい」と抱負を述べました。また、「援助や協力を通じて国際市場が安定することは、日本にとっても重要な国益の一部。国際貢献は長い目で見れば、日本にとっても良い変化をもたらすと考えています」と強調しました。



JICA本部で行われた就任記者会見

「質の高い成長」と格差是正、②普遍的価値の共有と平和構築の推進、③地球規模課題・援助潮流への取り組みの強化、④戦略的パートナーシップの拡大・深化、⑤途上国における女性の活躍と社会進出支援」を掲げています。

9月の国連総会で、「ミレニアム開発目標（MDGs）」に続く新たな開発目標として採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」については、「先進国にもさまざまな課題が突き付けられている」と述べ、日本にも関係があるという意識をより強く持って取り組んでいく必要があるとの考えを示しました。

また、近年、途上国支援における民間資金の存在感が急速に増している中、北岡理事長は、「日本の地方には意欲的で優れた技術を有する中小企業が数多くあるので、こうした企業が世界に進出する手助けをしていきたい」と語りました。

## 「グローバルフェスタJAPAN2015」開催

02



アンダーグラフとカズンによるスペシャルライブ。スクリーンでは協力隊の活動を紹介

10月3〜4日、国内最大級の国際協カイベント「グローバルフェスタJAPAN」が、外務省、国際協力NGOセンター、JICAの共催で開催されました。今年が初めて、日比谷公園からお台場に会場が移され、2日間で10万1300人が来場しました。

3日のステージでは、青年海外協力隊50周年のイメージソング『ひとりひとりの発売を記念して、総合プロデュースを担当した真戸原直人さん率いるロックバンド「アンダーグラフ」と、歌唱に参加しているポップスデュオ「カズン」がスペシャルライブを行い、会場を盛り上げました。

会場では、国際協力に関係するさまざまな団体がブースを出展。JICAのブースでは、国際協力についてのパネル展示やクイズ企画のほか、相談窓口を開き、多くの人に国際協力を身近に感じてもらう機会となりました。また今回、青年海外協力隊アニバーサリーテントが設置され、50年間の事業を振り返る展示や、OB・OGによる体験談の発表なども行われました。

## サッカー通じた国際貢献の強化目指し連携協定

03



左から、村井満Jリーグチェアマン、田中明彦前理事長、大仁邦彌JFA会長、北澤豪JFA理事/JICAオフィシャルサポーター(©JFA)

JICA、公益財団法人日本サッカー協会（以下「JFA」）、公益社団法人日本プロサッカーリーグ（以下「Jリーグ」）の三者は、9月17日、連携協定を締結しました。

開発途上国では、スポーツを通じて人々の健康増進や青少年の育成、地域振興などのニーズが高まっています。

これまで三者は、サッカーが開発途上国でも人気の高いスポーツであることを踏まえ、JFAの指導者をJICAボランティアとして開発途上国に派遣し、選手や指導者、審判などの育成に取り組んできました。今回の協定は、こうした協力関係を強化するものです。

今後は、ラオスのサッカー教室への指導者派遣やボスニアにおけるスポーツを通じた平和構築支援事業などのほか、Jリーグの試合会場などでJICAボランティアの募集情報提供など、開発途上国支援と国内での連携の両面で、さらなる協力に取り組んでいきます。